

# 「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 4 月 5 日

仕 事 の 内 容	地域活性化包括連携協定に関する事務					
担当部署・課長名	企画	課	企画担当	係	課長名	荒井 亮二

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。			施 策 番 号	行 - 2	-
【施策名】 効率的でスリムな行財政運営の実現			総 合 計 画 書 (ページ)	122	

予算名	款 2	総務費	項 1	総務管理費	目 7	企画費	事業 1	企画業務費
-----	-----	-----	-----	-------	-----	-----	------	-------

1	この仕事の目的	<b>① 誰（何）を対象にしていますか。</b> 市民	→	<b>① ①の対象数や量を、あらわすもの（対象指標）</b> 市民の数（4月1日現在の住民基本台帳人口）
		<b>② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]</b> 地域の活性化及び市民サービスの向上を図る。	→	<b>② ②の状態になった数・量をあらわすもの（成果指標）</b> 連携事業の実施件数（チラシ・ポスターの掲出を除く）
		<b>③ そのために何をしましたか。</b> ①庁内各課に調査を行い、(株)イトーヨーカ堂及び(株)セブンーイレブン・ジャパンに連携を依頼したい事業（チラシ・ポスターの掲出、その他連携事業）を集約する。 ②会議を月に1回程度開催し、担当者間で連携事業の実現に向けた調整を行う。	→	<b>③ ③をどのくらい行いましたか（活動指標）</b> 会議の開催回数

2	指標の推移		単 位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標	
		対象指標	①の数値	人	86,044	85,857	85,698	/	/
		成果指標	②の数値	件	9	6	2	/	/
		目 標	②の目標値	件	78	78	2	/	/
			目標値設定の考え方	庁内各課から提案のあった連携事業について、実現に向けた検討を進める。					
活動指標	③の数値	件	14	12	12	/	/		

3	経費	事 業 費（実績）		円	0	0	0	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費（再任用職員以外） 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。（退職手当組合負担金、共済費も含む。）	
		財 源	一般財源		円	0	0		0
			特定財源		円	0	0		0
			（うち受益者負担）		円	0	0		0
		人 件 費（目安）	所要人数(再任用以外)		人	0.2	0.2		0.2
			所要人数(再任用)		人				
			職員人件費(再任用以外)		円	1,653,400	1,650,600		1,648,800
職員人件費(再任用)		円							
事業費+人件費		円	1,653,400	1,650,600	1,648,800				

この仕事における市の裁量	市の裁量は大きい
--------------	----------

4	環境変化	この仕事の開始時期（開始年度）、何を目的に開始していますか。
		地域の活性化及び市民サービスの向上を目的に、平成28年2月12日（金）、東大和市、(株)イトーヨーカ堂、(株)セブンーイレブン・ジャパンの3者で、「地域活性化包括連携協定」を締結した。
		開始当初と比較し、状況の変化はありますか。
		連携事業の提案について、毎月庁内各課に照会し、協定先と相談等を行っている。

仕 事 の 内 容	地域活性化包括連携協定に関する事務				
担当部署・課長名	企画	課	企画担当	係	課長名 荒井 亮二

5 市民等 の 意見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について				
	特になし				

6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）				
	取組みは無い	取組手法	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
	(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点				

7 課 題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題(2)」の内容				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チラシ及びポスターの掲出以外で、協定に基づく新規事業について検討すること。</li> <li>・主管課から依頼があったが、調整会議の当日までに現物が用意できていないことが多いため、依頼の仕方を変更するか、主管課との調整を密にすること。</li> </ul>				
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。				

8 今 後 の 方 向 性	(1)仕事の方向性（「7 課題(3)」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など）				
	チラシ及びポスターの掲出以外の連携事業について、より多くの提案を実現できるよう、今後も協定先と調整していく。				

8 今 後 の 方 向 性	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本協定に係る連携事業について、引き続き庁内各課に照会し、本事業に対する理解を深めることで、提案件数を増やす。</li> <li>・主管課から提案された連携事業について、主管課及び協定先との間で会議の場にて調整を行い、実現に向けた検討を行う。</li> </ul>				

8 今 後 の 方 向 性	(3)改革・改善案による期待成果				
	上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。				
成果	成果を維持する。			経費	仕事の経費は維持する。